

P2~3 公共施設に関する
これまでの取り組みについて

P4 公共施設のイマ

P5 公共施設のミライに向けて

P6~7 コミュニティ施設と児童館のあり方について

P8 (仮称)アセットマネジメント計画の進め方について

公共施設の見直しと将来像

多摩市政策情報誌

令和7年3月

vol.
16

ミライのために、 イマを考える

多摩市では、ニュータウン開発の時期に公共施設を集中的に整備してきました。現在、それらの公共施設が一斉に更新時期を迎えています。一方、将来を見据えると、人口減少や人口構成の変化により、更新や維持に関する費用の捻出が難しくなることが予想されます。さらに、地球沸騰化ともいえる異常気象や地震・風水害などの災害、デジタルトランスフォーメーション技術(DX化)の進展等により、公共施設に対するニーズは変化しています。

こうした状況の中で、皆さんが引き続きいきいきと暮らし、地域活動を続けられるように、公共施設のミライについて皆さんと一緒に考えていく必要があります。本誌では、公共施設に関するこれまでの取り組みを振り返るとともに、検討中の(仮称)アセットマネジメント計画についてお知らせします。



多摩市長 阿部 裕行

公共施設に関するこれまでの取り組みについて

【問合せ】
行政管理課
☎042-338-6948



多摩市は、長期的な展望に立ち、公共施設を将来も安全に使い続けるとともに、施設総量を縮減しながら、時代のニーズに合わせた機能転換等を進めることを目的として、平成25年11月に「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム（以下、行動プログラム）」を策定しました。
行動プログラムの目的やその取り組みをご紹介します。



「行動プログラム」って何？

行動プログラムは、みんなが使う図書館や児童館などの建物が古くなっていることや、それらを修理したり建て替えたりするにはどれくらいのお金がかかるのかを知ってもらい、未来に向けてどんな建物が必要になるのかを考えるためのものなんだ。



「行動プログラム」って何のためにあるの？



- 行動プログラムは、
- ①安全に使ってもらえるようにしていくこと
 - ②サービスの水準を下げないよう必要な施設を維持するため、施設の量を減らしていくこと
 - ③みんなの生活に合わせて古くなった施設サービスを取り換えていくことという3つの目的があるんだ。

行動プログラムを進めていくことで、君たちが大人になる頃でも、公共施設にかかるお金で負担にならないようにしたいんだ。



どんなことをしてきたの？

閉校した学校跡地を有効活用したり、民間活力を活用したりしてきたよ。次のページで紹介するよ！





市民活動・交流センター
（旧北貝取小学校）

令和4年4月にオープンしました。
文化・スポーツ等様々な活動に利用されています。



南豊ヶ丘フィールド
（旧南豊ヶ丘小学校）

平成27年4月から貸付して、人工芝のサッカーグラウンドとして使用しています。



パルテノン多摩大ホール

令和4年7月にリニューアルオープンしました。



多摩市立中央図書館

多摩中央公園内に中央図書館を建設し、旧西落合中学校跡地に暫定的に整備していた図書館本館の機能を移転しました。



多摩中央公園 きらめきの広場

改装中の多摩中央公園とグリーンライブセンターは、令和7年4月5日に全面グランドオープンします。

場所の有効活用へ

学校跡地を機能転換しました！

- ・旧南豊ヶ丘小学校をスポーツや健康づくりの場として整備し、災害時には防災避難所として使用できるようにしました。
- ・旧北貝取小学校を改修し、市内3ヶ所の学校跡地を暫定的に活用していた市民活動の場や文化財の収蔵の場を1ヶ所に集め、「市民活動・交流センター」「多摩ふるさと資料館」をオープンしました。講座等様々な活動が行われ、また、文化財の展示を行っています。

新たな財源を

都市計画税の使途の拡大

- ・議会とともに国や都に要望し、都市計画税を老朽化や耐震補強化対策のための改修や更新に使えるようにし、パルテノン多摩や多摩市立中央図書館、多摩中央公園の整備に活用しました。

公募設置管理制度(Park-PFI)の活用

- ・多摩中央公園の改修整備と運営は民間活力を導入し、より魅力ある公園にしていきます。



公共施設のイマ

東京ドーム8個分

多摩市の公共施設の延床面積は約37万8千㎡もあり、これは東京ドーム8個分にもなります。近隣市に比べて量だけでなく質も高く、充実しているといえます。



毎年約70億円

充実した公共施設の維持管理等に毎年約70億円の費用をかけています。今後の施設更新にはさらに多くの投資が必要です。



人口約1割減少

少子高齢化に伴い、多摩市の人口は2050年には約10%減少する見込みです。人口が減少すれば税収も減少し、公共施設の利用者も減少します。



公共施設に求められるニーズの変化

感染症のまん延、デジタルトランスフォーメーション技術(DX化)の進展等を受けて、公共施設に求められるニーズは変化しつつあります。

地球沸騰化とも言える異常気象を受けて、夏場には身近な公共施設がクーリングシェルターとして利用できます。

公共施設のミライに向けて



(仮称)アセットマネジメント計画の策定を進めています。

少子化・高齢化がすすむ中、近年では、毎年のように豪雨・地震などの自然災害が発生しており、また、DX化の進展による生活様式の変化や物価高騰なども起きています。

今後、財政的な厳しさが予想される中で、急速に変化する社会情勢に柔軟に対応するため、行動プログラムに代わる新たな計画、(仮称)アセットマネジメント計画(以下、新計画)の策定を進めています。

市民の皆さんも一緒に考えていきませんか。

様々な世代が
シェアできる
施設に

安全に使い
続けるため

長期的な
視点で

様々な目的に使えるような
施設に変えていくことで、
公共施設をより自由な場所
にし、また、多分野のつな
がりも生まれていくのでは
ないか

より自由
に使える
施設に

まとめて
便利に

新たな
ニーズ

機能の似通った施設を
一つにまとめ、空間を
シェアすることで、機能
を強化できないか。より
使いやすくできないか

将来的な需要に合わせて
公共施設を柔軟に対応さ
せていく必要がある

世代を問わず施設をシェア
して使うことで、多くの方
に使っていただけるよう
になり、また、世代間のつな
がりも生まれていくのでは
ないか

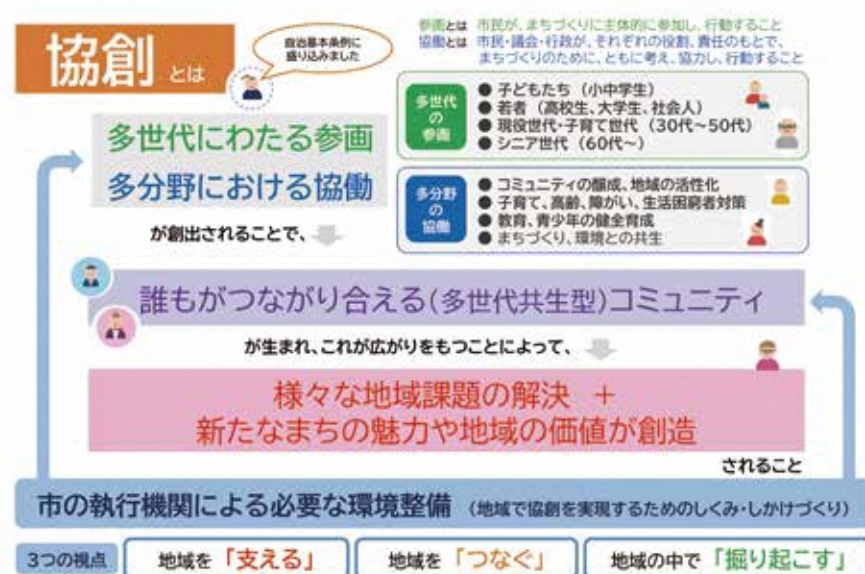
高度経済成長の時期に集
中して建設された施設を
安全に使い続けるため
にはどうしたらよいのか

公共施設は数十年にわた
って使い続けるもの。
先を見据えて見直しを

公共施設に求められるニーズの変化等を受けて、コミュニティ施設や児童館のあり方についてまとめました！

コミュニティ施設のミライ

- 少子化・高齢化が進行し、地域の中の担い手が減少している中において、子どもからシニア世代まで、子育て中や働きながらでも、また、これまでは支えられる立場にあった人たちも含めて、誰もがつながり合える、多世代共生型のコミュニティをつくりたいと考えています。
- この多世代共生型のコミュニティが生まれる場であり、「協創」を実現していく拠点となるのが、コミュニティ施設のミライです。



【施設の再編、機能転換の考え方】

多世代・多分野でのつながりの生まれる場を目指し、「協創」を実現していく拠点として、それぞれの施設を見直していきます

コミュニティセンター ・コミュニティ会館

当面の間は存続させていくことで、エリアごとの多世代・多分野でのつながりの生まれる場を目指します。

老人福祉館・地区市民ホール

大規模改修等の時期に合わせて、世代を問わず広く利用可能なコミュニティ施設(コミュニティセンター、コミュニティ会館のいずれか)への転換を進めていきます。

【問合せ】協創推進室 ☎042-338-6803

詳しくはこちら→「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針」



児童館のミライ

児童館は18歳以下のすべての子どもと保護者に開かれた「多摩市の未来を育む館」です。児童館は時代のニーズに合わせて様々な役割を担ってきましたが、最も基本となる地域のすべての子どもを対象にした健全育成としての本分が弱まってきたと考えています。

そこで児童館が、子どもや保護者を支援し、強く生きる力をもった子どもの育成にこれまで以上の力を発揮できるようにしていくための道しるべとして、児童館の今後のあり方基本方針をまとめました。

これからの児童館が重点を置くこと

- ①放課後子ども教室や学童クラブでは実施が難しい独自の事業展開、児童の健全育成に資するあそびの企画、実施
- ②中高生の放課後の居場所としての運営
- ③学童クラブ、放課後子ども教室の運営支援、管理・指導、職員の研修機会を設けての育成
- ④地域の子育て関係団体、地域住民等と交流・連携し、子育て環境の向上につながる業務

今後の児童館はどうなるの？今後の児童館像

基幹となる児童館

0～18歳対象 駅近くに配置
基本的な児童館事業に加え、相談支援、地域の児童館の支援、移動児童館など館にとられない運営を行います。

地域の児童館

0～18歳対象
個別地域内に配置
引き続き地域に身近な児童館として、地域や子どもの特性に応じた運営を行います。

アウトドア特化館 ＜児童センター＞

基幹となる児童館の役割に加え、野外活動、自然活動などアウトドアに特化した運営を行います。

中高生専門館

13～18歳対象
今の児童館では体験できない運動や文化活動を思春期に経験できるような、中高生対応に特化した運営を行います。



5年以内に目指す姿

豊ヶ丘児童館

現在の貝取学童クラブの場所へ移転します。
貝取小学校、豊ヶ丘小学校の両エリアにバランスの良い場所になります。豊ヶ丘複合施設に設置される子どものためのスペースで移動児童館を行います。(※貝取学童クラブは豊ヶ丘小学校内へ移転します)

東寺方児童館・愛宕児童館

統合し、愛宕児童館の場所でアウトドアに特化した児童センターを設置します。
多摩第二小学校と東寺方小学校では放課後子ども教室を週5日実施し、東寺方児童館エリアの小学生の放課後の居場所を確保します。東寺方複合施設に子どもの居場所を確保し、近隣施設を含めて移動児童館を行います。

【問合せ】児童青少年課 ☎042-338-6917

詳しくはこちら→「児童館の今後のあり方基本方針」



上記の基本方針を踏まえて、各地域の皆さんとミライを一緒に検討しています！

豊ヶ丘複合施設 (老人福祉館・地区市民ホール、児童館、図書館)

- 「豊ヶ丘複合施設整備方針」を策定しました。
- 地域ニーズに柔軟に応え、多世代が集い、学び、つながる、豊ヶ丘の地域拠点を目標し、建替え整備をしていきます。
- 子ども・若者向けサービス・図書館サービス・貸室サービス・フリースペース等の機能の提供を検討しています。
- 今後、市民ミーティングやワークショップを通じて、さらに検討を進める予定です。



詳しくはこちら→

東寺方複合施設(老人福祉館・地区市民ホール、児童館、図書館)

- 多世代が利用できるコミュニティ施設として再編整備します。
- 今後、地域の皆さんと一緒により良い施設となるよう検討を進めていきます。

諏訪複合施設 (老人福祉館・地区市民ホール)

- 老朽化が著しく進行し、耐震基準を満たしておらず、なるべく早期に仮設の施設へ移転します。
- 仮設の施設では、移転時に老人福祉館は廃止することとし、地区市民ホールとして運営する予定です。
- 近隣の団地再生事業等の進捗を勘案したうえで、将来的にはコミュニティセンターかコミュニティ会館のいずれかとして整備する予定です。

(仮称)アセットマネジメント計画 の進め方について

【問合せ】
行政管理課
☎042-338-6948



市民の皆さんと一緒に考えていきます

市民の皆さんのくらしやグループでの活動を支える身近な公共施設を今後どうしていくか。新計画では皆さんの生活に直結する重要なテーマを扱います。そのため、行政の想いだけで一方的に進めることはできません。

皆さんの公共施設への想いを反映させるため、アンケート調査や市民フォーラム等を開催する予定です。ともに考えていきましょう。

2025年3月 アンケート調査実施

- ・無作為で選ばせていただいた方々に対してご案内をお送りしています。計画を検討するにあたっての貴重な資料になりますので、是非ご回答ください。
- ・アンケート調査の結果を受けて、計画の骨子をまとめます



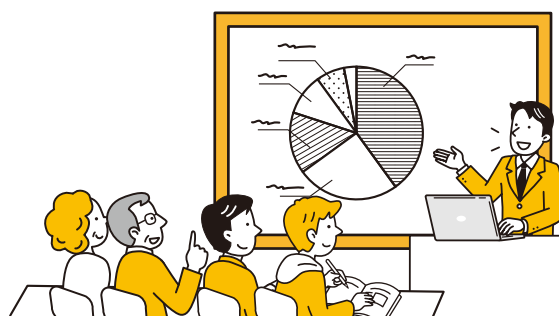
2025年夏 市民フォーラム開催

- ・計画の骨子をご説明するとともに、ワークショップ形式等の手法も交えて市民の皆さんからご意見を伺います。
- ・市民フォーラムで伺ったご意見を踏まえて計画の素案をまとめます。



2025年冬 市民説明会開催 パブコメ実施

- ・計画の素案をご説明するとともに、市民の皆さんからご意見を伺います。
- ・説明会等で伺ったご意見を踏まえて計画をまとめます



2026年春 新計画決定

市民フォーラムや市民説明会等の日程については、決定次第、右の二次元コードのページにてご案内いたします。



発行：多摩市 〒206-8666 東京都多摩市関戸 6-12-1 編集：行政管理課
電話：042-338-6948（直通） FAX：042-337-7658